

	授 業 目 標【評価観点】および 評 価 基 準	振り返り&家庭学習の内容
1 回 目	<p><u>○「私はあまりにも～すぎて…できない。」という英文を書くことができる。(表現)</u> A:その理由も自分なりに考え、書くことができている。 B:提示された単語を用いて、英文を正しく書く力がある状態。 C:スペルミスや一部抜けている英単語がある状態 D:文が書けていない。または間違いが多い状態。</p> <hr/> <hr/> <hr/>	<p>改善点・定着度または理解不足な点</p> <p>○家庭学習ですること (何を用いて?何ができるようになって合格?)</p>
2 回 目	<p><u>○「私はあまりにも～すぎて…できない。」を別の形で表現することができる。(表現)</u> A:その理由も自分なりに考え、書くことができている。 B:提示された単語を用いて、英文を正しく書く力がある状態。 C:スペルミスや一部抜けている英単語がある状態 D:文が書けていない。または間違いが多い状態。</p> <hr/> <hr/> <hr/>	<p>善点・定着度または理解不足な点</p> <p>○家庭学習ですること (何を用いて?何ができるようになって合格?)</p>
3 回 目	<p><u>○()に適切な英単語を入れ、P.39の本文を再現することができる。(理解)</u> A : 全問正解! B : 6-7問正解 C : 4-5問正解 D:2-3問正解 E:0-1問正解</p> <hr/> <p>①()②()③() ④()⑤()⑥() ⑦()⑧(/)</p>	<p>○改善点・定着度または理解不足な点</p> <p>○家庭学習ですること</p>
4 回 目	<p><u>○質問の答えを導き出す根拠となる英文を本文から抜き出すことができる。(理解)</u> A : 全問正解 B : 2問正解 C : 1問正解 D : 0問正解</p> <hr/> <p>① _____ ② _____ ③ _____</p>	<p>○改善点・定着度または理解不足な点</p> <p>○家庭学習ですること</p>

	授 業 目 標【評価観点】および 評 価 基 準	振り返り&家庭学習の内容
5 回 目	<p><u>OP.41の最終行のセリフから考えられる飼育員の心情や願いを表現することができる。(表現)</u> A:本文から考えられる適切な心情もしくは願いや嘆きを2文書くことができている状態。 B:本文から考えられる適切な心情もしくは願いや嘆きを1文で書くことができている状態。 C:意味合いは通じるが、文法等にミスが多くある状態。 D:書くことができていない状態。</p> <hr/> <hr/>	<p>○改善点・定着度または理解不足な点</p> <p>○家庭学習ですること</p>
6 回 目	<p><u>○上野動物園のガイドブックに挿絵のモニュメントがあります。どんな案内文が書かれているのかを想像して、英語で表現することができる。(表現)</u> A：Bに加え、モニュメントに込められた思いが書かれた案内文を書くことができている。 B：モニュメントが建てられた経緯が書かれた案内文を書くことができている。 C：P.42の文を用いてモニュメントについての案内文を書くことができている。 D：案内文を書くことができていない。</p> <p>TASK は別に配布するプリントで行います。</p>	<p>○改善点・定着度または理解不足な点</p> <p>○家庭学習ですること</p>
7 回 目	<p>☆Program4 英単語テスト【筆記式】の実施 【知 識】 ・配点:1点×25問(英語⇒日本語15問 日本語⇒英語10問) ・評価:S:25～24点 A:23～20点 B:19～17点 C:16～10点 D:9～6点 E:5～0点</p>	<p>○単語テストを結果受けて</p>
8 回 目	<p>○第1回目・第2回目で学んだ文法の復習</p> <p>○教科書本文 P.39～42に関するワークシートに取り組む</p>	<p>○</p>
6 回 目	<p>☆<u>単元テスト</u>☆</p> <p>➡マーク式と記述式の両方で行う50点満点のテストです。 ➡テスト時間は30分間です。</p> 	<p>単元テスト結果を受けて</p>

○単元計画を見て、「日々の授業」「単語テスト」「単元テスト」までの見通しを持ち、家庭学習に取り組もう！！

➡受験に向けて、さらには社会に出た時に、任された仕事や自身の将来に対して行き当たりばったりでは上手く生きていけません。
 物事に対して「見通しを持てるスキル」「計画を立てるスキル」そして「実行できる意志・行動力」が伸びていくことでしょう。

○「英単語を覚える！」「一つ上の評価を目指す！」ことを通して

➡英単語を覚えることは苦しいことです。でも、その苦しいことに負けず、頑張ることで「忍耐力」が伸びていくことでしょう。
 ➡自分のために一つでも上を目指すことは「挑戦する力」が伸びていくことでしょう。

**社会で生きていくのに
必要な力**

POINT!!

